

聞くカトレーニングブック2 見本教材の使い方

- 本書は聞きとり教材ですので、本文がお子さんに見えないよう配慮して、支援者・保護者の方が読みあげてください。
- はじめから順番にすすめていく教材ではありません。実施時間が合わせて5～10分程度になるよう、バランスよくさまざまな問題を組み合わせて実施してください。
- 長時間取り組んで内容をすすめるよりは、長期間にわたって少しずつ学習をすすめていくようにしてください。
- ★～★★★★の数 は節の中での相対的な難易度を示しています。★の数が多いほど難しくなりますので、例えば★★★で数問つまづくようなら★★の問題に戻るなど、指導上の目安としてお使いください。
- 問題文の後の（ ）内は、解答・解答例になります。
- 問題文のはじめにチェック欄を付けました。正誤の記録等にご活用ください。

- 各節ごとに指導のポイントを記してありますので、ご使用の前にご一読ください。
- 本書はさまざまな場面でお使いいただけます。療育や学習支援ではもちろん、朝の会や授業の導入などにもご活用ください。また、ご家庭では、何らかの待ち時間等にクイズ感覚で取り組むこともできます。
- 聞くことが特に苦手なお子さんには、はじめはできるだけ静かな環境の中で取り組ませてあげましょう。はじめに「○問やったら終わりにしよう」と見通しを伝えておくことも大切です。易しめの問題に繰り返し取り組み、「できる」という実感を持たせてあげるよう配慮してあげましょう。
- 前作『聞くカトレーニングブック』と本書は、同じコンセプトで作られています。どちらのどこからはじめてもかまいません。また、前作と類似の課題が掲載されている場合には、本書の各節の「指導のポイント」に関連の節を明示しました。（聞く力1「節番号：タイトル」）

2：3つの聞き取り (記憶、注意、想起)

指導のポイント

聞く力1「1.0：単語の記憶」

本課題は、先に3つの答えを示し、後から出された問題の回答を、その中から選ぶ課題です。記憶を保持しながら考える基礎練習になります。前作『聞く力トレーニングブック』には「単語の記憶」という4つの聞き取り問題がありましたが、本課題はそれよりもやや易しめの問題が多くなっています。後半にいくほど多くの語彙力や推論力が必要になりますので、すぐに正答を出せるお子さんは、難易度の★を目安に、後半の問題からはじめてもいいでしょう。

問題 (毎回必ず読みます)

まず3つの言葉を言います。その後に問題を出しますから、はじめの3つの言葉の中から答えを選びましょう。

□□① いぬ、りんご、はさみ

3つのうち、赤いものはどれですか。(★りんご)

□□⑥ レモン、玉子焼き、ぶどう

3つのうち、黄色くないのはどれですか。

(★ぶどう)

□□⑦ ねずみ、うし、とら

3つのうち、最後に言った動物はなんですか。

(★とら)

4：音の分解（動物さがし）（音韻認識、思考操作、注意、記憶、想起）

指導のポイント

聞く力1「4：音の分解」

聞いた言葉の中から、動物を探す課題です。この課題は音韻操作を必要とします。『聞く力トレーニング1』にも、音を並べ替える問題がありましたが、今回は動物に限定することで、より回答しやすいように配慮しました。もしなかなか回答が出せないようでしたら、はじめのうちは書き示すなどの手助けをしてみましょう。コツがつかめたら、聞き取りだけでチャレンジしてみてください。なお、問題用の単語は、読みやすさに配慮し、適度にスペースをいれてあります。

問題（毎回必ず読みます）

これから言う言葉の中に、2つの動物がかくれています。それをあなたに当ててもらいます。例えば、「ねいぬこ」だと「ねこ」と「いぬ」がいますね。では、やってみましょう。

- ① ぶさるた（★★ぶた、さる）
- ⑫ うかさめぎ（★★★うさぎ、かめ）
- ⑮ きりぱんだん（★★きりん、パンダ）
- ⑲ ラネイズ オミン（★★★ライオン、ネズミ）
- ⑳ いにのわ ししとり
(★★★いのしし、にわとり)

支援の視点3 「指示が守れない理由」

よく「指示通りに行動できない」という相談を受けます。「叱る」「代わりにやってしまう」などの対応をいったんはとつても、それが次の「指示を守る」にはつながらず、親子ともども疲れてしまうことも多いようです。

ではここで、どうして指示が守れないのかを考えてみましょう。

①指示内容がそもそも分からない、②指示を実行できるスキルがない、③指示が多すぎる、④指示を忘れてしまう、⑤指示に注意が向けられない、⑥指示は分かっているが衝動的に別のことをしてしまう、⑦指示を守ろうという意欲が低い、⑧指示されたことについての自分なりの優先順位が低い、⑨こだわりが強い、⑩切り替えができない、⑪指示を出した人に反抗している、など、他にもあるかもしれませんが、おおむね上記のような理由が、複合的にお子さんの行動に影響を与えていると考えられます。

まずは、行動の背景をしっかりと探ることからはじめてみてください。

8：考えて想像する（思考操作、想像、記憶、注意）

指導のポイント

聞く力1「9：イメージ課題」

聞いたことをイメージしたり、聞いた情報を元に整理し論理的に考える問題です。本課題は、「単純記憶課題」「思考操作課題」「比較課題」の3つに分かれています。「比較課題」では「〇〇のほうが」「〇〇よりも」など、つまずきやすい比較の言葉を用いた問題を特に集めています。なかなか答えが出せないようであれば、絵や図で示してあげましょう。

■単純記憶課題

- ④ けんたさんはボールで、まいさんはなわとびで遊んでいます。けんたさんは何で遊んでいますか。
(★★ボール)

■思考操作課題

- ⑦ 赤と緑と白のボールがあります。今、赤いボールと、白いボールを使っています。残っているのは、何色のボールですか。(★★緑)

■比較課題

- ④ しゅんさんと、けんさんが待ち合わせをしています。けんさんのほうが先に来ました。後から来たのは誰ですか。(★★しゅんさん)

1：持ち物や準備するもの

指導のポイント

持ち物や準備するものについての聞き取り練習です。生活場面で多く見られ、聞き取りのスキルの一つとして身につけておきたい内容になります。本課題に取り組む際に、問題文に出てくる道具を実際に準備して、行動できるかどうかを見てみるのもいいかもしれません。

共通の教示はありませんので、聞くことが特に苦手なお子さんには「持ち物に気をつけて聞きましょう」など、聞くポイントを事前に伝えてもいいでしょう。メモをとる練習にも活用してみてください。

- ④ はしを出してください。スプーンはいりません。何をすればいいですか。(★★はしを出す)

- ⑦ 明日は工作をしますので、家から空のペットボトルを2個持ってきてください。明日の持ち物は何ですか。(★★空のペットボトルを2個)

- ⑧ 明日の遠足には、水筒とおやつを持っていきます。お弁当はいりません。明日の遠足に持っていくものは何ですか。(★★水筒とおやつ)

2：待ち合わせ

指導のポイント

友達同士で待ち合わせをする場合、「学校が終わったら家に行くね」という感じの待ち合わせをすることが多いようです。実際には時間と場所（と日程）を決めないと待ち合わせにはなりません。本課題を通して、時間と場所を聞き取ることを意識づけるとともに、筆記が苦手でないお子さんにはメモをとる練習もしてみてください。

なお、お子さんのつまずきやすい問題については、その問題文の時間や場所を、別の時間や場所に置き換えながら、繰り返し取り組んでみてください。

共通の教示はありませんので、特に聞くことが苦手なお子さんについては、はじめのうちは「時間と場所に気をつけて聞き取りましょう」との教示を入れてもいいでしょう。

- ① 明日は9時に体育館に集合です。明日は何時にどこに行けばいいですか。（★9時に体育館）
- ② 朝礼は校庭でやります。すぐに校庭に集合してください。いつどこに集まればいいですか。
（★すぐに校庭）

□□③ 明日は、3時に友達と図書館で待ち合わせをしています。いつどこで待ち合わせをしましたか。

(★★明日の3時に図書館)

□□④ おうちの人がありました。「今日は学校が終わったらスイミングに行くよ。4時に家を出るからね。それまでに帰ってきて」。何時までにどこにいればいいですか。(★★4時までに家)

□□⑤ 先生がお話をしています。「3時間目の体育は、体育館の予定でしたが、校庭に変更になりました。3時間目がはじまるまでに、校庭に移動しておきましょう」。いつどこに行けばよいですか。

(★★3時間目がはじまるまでに校庭)

【著作権およびご利用について】

※本見本教材の著作権は、株式会社ククアに帰属します。

※本見本は、お子さまに実際にお試しいただくことを目的として公開しています。

ご家庭・学校・療育機関等でのおためし用として、ご利用いただくことができます。

※なお、本見本教材の全部または一部について、転載、送信、再配布、販売、その他これらに類する行為は固くお断りいたします。